

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 理科 出題のねらい等

連番	大問	中間	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		地球	中1	(2) イ (ア) 地層の重なりと過去の様子	堆積岩を分類する基準についての知識を身に付けていること。				○	○	
②		(2)		地球	中1	(2) イ (ア) 地層の重なりと過去の様子	地層の重なり方を基に化石が出てくる地層について推論できること。		○				○
③		(3)		地球	中1	(2) イ (ア) 地層の重なりと過去の様子	かぎ層についての知識や凝灰岩がかぎ層となる条件について理解していること。				○	○	
④		(4)		地球	中1	(2) イ (ア) 地層の重なりと過去の様子	地層の重なり方から、地層のつながりや広がり方について、断層とも関連付けて推論できること。		○				○
⑤	2	(1)		エネルギー	中1	(1) ア (ウ) 音の性質	空気中を伝わる音の速さを計算によって求めることができること。			○		○	
⑥		(2)		生命	中2	(3) イ (イ) 刺激と反応	耳のつくりと働きについての知識を身に付けていること。				○	○	
⑦		(3)		生命	中2	(3) イ (イ) 刺激と反応	感覚器官や神経系,運動器官のつくりと働きなどについて知識を身に付けていること。				○	○	
⑧		(4)		エネルギー	中1	(1) ア (ウ) 音の性質	記録結果から平均の時間を導き出すときに、除外する測定値やその理由について指摘できること。			○		○	
⑨		(5)		エネルギー	中1	(1) ア (ウ) 音の性質	音と光の速さの違いから、距離が違うと見え方等に差が出ることを推論できること。		○				○
⑩	3	(1)		生命	中2	(3) ウ (イ) 無脊椎動物の仲間	無脊椎動物の体のつくりに興味・関心をもって分類しようとしていること。	○					○
⑪		(2)		生命	中2	(3) ウ (イ) 無脊椎動物の仲間	アサリの体のつくりについての知識を身に付けていること。				○	○	
⑫		(3)		生命	中2	(3) ウ (イ) 無脊椎動物の仲間	アサリの活動について調べる実験の条件付けを指摘できること。			○		○	
⑬		(4)		生命	中2	(3) ウ (イ) 無脊椎動物の仲間	海水の汚れとして例えた米のとぎ汁以外に、実験に使うものを選択できること。			○		○	
⑭		(5)		生命	中2	(3) ウ (イ) 無脊椎動物の仲間	実験結果から、環境保全とアサリの関係について推論し、説明できること。		○				○
⑮	4	(1)		粒子	中2	(4) イ (ア) 化合	鉄の原子記号や二酸化炭素の化学式の表し方についての知識を身に付けていること。				○	○	
⑯		(2)		粒子	中2	(4) イ (イ) 酸化と還元	化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで表現できること。		○				○
⑰		(3)		粒子	中2	(4) イ (ウ) 化学変化と熱	温度変化のグラフから読み取り、関係している物質について指摘できること。			○		○	
⑱		(4)		粒子	中2	(4) イ (ウ) 化学変化と熱	結果から考察し、かいろの温度変化に関係している物質について推論できること。		○				○
⑲		(5)		粒子	中2	(4) イ (ウ) 化学変化と熱	結果から考察し、全体での温度変化と鉄・活性炭・食塩・水との関係について推論できること。		○				○
⑳		(6)		粒子	中2	(4) イ (ウ) 化学変化と熱	化学変化による熱の出入りを利用した身近なものについて関心をもち関連付けようとしていること。	○					○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。